

## 第37回理事会議事録

当協会は、2013年3月25日(月)午後1時30分、東京都新宿区新宿六丁目14番1号新宿区立新宿文化センター第五会議室において理事会を開催した。

定刻になり、代表理事八板富栄は議長席に着き開会を宣し、次のとおり理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数	12名
本日の出席理事数	9名
監事総数	1名
本日の出席監事数	1名

### 第一号議案 準会員の正会員昇格の審査について

以下の準会員を、本協会の認定資格を取得しているため、正会員とする。

本間 滋	(3級取得)
長 将司	(1級取得)
糸日谷智孝	(1級取得)
奈良 暁	(1級/2級SST取得)
清水 大樹	(2級取得)

### 第二号議案 事業委員会の報告と新年度の計画、委員増員について

新たに糸日谷智孝会員を事業委員に任命し、高野仁事業委員を音響家技能認定講座認定業務担当に任命することとした。

北陸支部が開催する「音のゼミナール北陸版」に講師を派遣し協賛する。

次年度の音響家技能認定講座は、ベーシックコースを西日本支部、東日本支部、北海道支部で開催する。

### 第三号議案 優良ホール百選について(報告)

担当の山形等理事から報告があり、新優良ホールに千葉県文化会館が認定されたとの報告があった。

また、候補の応募を常時受け付けることとし、定期的に審査することにした。

今後は、他団体と共同でこの制度を推進していくことにした。

### 第四号議案 機関誌発行の現状について(報告)

出版委員会統括の高崎利成理事から、編集、製作業務を委員が行い、印刷会社を変更することで、本年度の出版経費を前年度の半額以下にすることができたとの報告があった。

第五号議案 協会賞について（報告）

候補応募締め切り前であるが、協会賞担当の深尾康史理事から現状報告があった。

第六号議案 2013年度総会開催について

協議の結果、2013年5月28日（火）に東京・新宿文化センター第1会議室で開催することに決定した。

第七号議案 支部の事業報告と事業報告書のフォーマット変更

支部の事業について各支部からの報告の後、事業報告書のフォーマットの変更について協議し、源泉税預かり金を収入に含めず欄外に記載することにした。

また、機関誌等への報告原稿は別途、出版委員会へ提出することとし、事業報告書には添付せず、事業報告書をすみやかに提出できるようにした。

事業終了後は、必ず機関誌へ掲載する報告書を書き、支部出版委員を經由して本部出版委員会へ提出し、ウェブサイト用の報告は簡素なものを本部へ送付することとした。

第八号議案 九州ブロックのイベントについて

西日本支部内の九州ブロックの運営にあたっては、相互の連絡を密にして、九州ブロックのイベントを円滑に推進できるよう、西日本支部に対して援助を一層高めるように申し入れた。

第九号議案 本部会計の現状について報告

鎌田晶博会計執行主任理事から報告があり、本年度は機関誌の発行経費を削減するなどしたため、黒字決算となる見通しであることを確認できた。

また、支部運営費は支部会員の役に立つイベントを多く実施して、できるだけ使い切るように申し入れた。

午後4時10分を以って本理事会の議事が終了したので、議長は閉会を宣し、理事会を終了した。

以上の議事を明確にするため、本議事録を作成し出席した理事全員が以下に記名押印する。

2013年5月26日

一般社団法人日本音響家協会

議長理事 八 板 富 榮 印

理 事 大 野 正 美 印

理 事 鎌 田 晶 博 印

理 事 木 枝 義 雄 印

理 事 高 崎 利 成 印

理 事 高 橋 洋 平 印

理 事 鷹 栖 了 印

理 事 深 尾 康 史 印

理 事 山 形 等 印

監 事 三 好 直 樹 印